

東日本大震災 消防署所の活動及び被害状況に係る調査票
(死者・行方不明者が発生した太平洋に面した消防本部を対象)

(★) 写真を貼りつける項目

調査日：平成 23年 4月 22日

消防本部名	仙台市消防局	構成職員数	1,097 人※
構成市町村	仙台市	構成署所数	6 消防署 2 分署 21 出張所
調査署所名	荒浜航空分署	庁舎職員数	159 人(若林署全体) ※

調査対象の消防署所位置 (仮庁舎の場合は、被災した庁舎と仮庁舎両方)



○庁舎全景

庁舎の全景写真 1	庁舎の全景写真 2
<p>庁舎遠景、航空分署であり海際に立地する</p>	<p>左は航空機(ヘリコプター)格納庫、右は分署庁舎</p>

庁舎の全景写真 3



庁舎一階部分が水に浸かった。写真背側が海であり、津波に押し流された車両が庁舎に引っかかっている

庁舎の全景写真 4



庁舎施設は使用不能であり、署所は機能していない。施設管理のため職員が常駐している

庁舎の全景写真 3



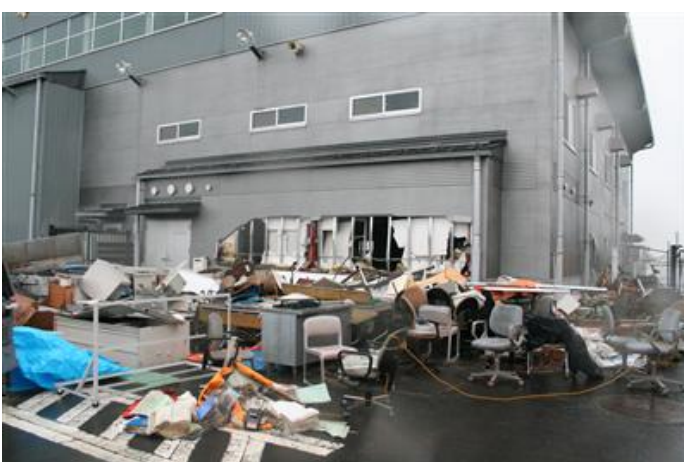
消防車両(消防ポンプ車)は流され庁舎壁体に衝突した

庁舎の全景写真 4



消防車両(救急車)も津波に流された

庁舎の全景写真 3



格納庫も被災しているが、消防局へりは津波襲来時には飛行中であり難を逃れた

庁舎の全景写真 4



震災直後、この施設は使用不能のため、消防局へりは内陸にある自衛隊霞目飛行場を使用した

○周辺の被害の様子

<p>周辺の被害の様子 1</p>	<p>周辺の被害の様子 2</p>
	
<p>敷地内には県防災ヘリ施設もあり、同様に被災した</p>	<p>海側を望む。写真正面方向から津波は来襲した</p>
<p>周辺の被害の様子 3</p>	<p>周辺の被害の様子 4</p>
	
<p>庁舎敷地は周辺より高台にあるが、今回の災害では津波から逃れることはできなかった</p>	<p>敷地入り口付近の街頭は津波で折れ曲がっている</p>
<p>周辺の被害の様子 5</p>	<p>周辺の被害の様子 6</p>
	
<p>海岸付近は全て写真の様な状況となっている</p>	<p>海岸付近は全て写真の様な状況となっている</p>

※職員数については市 HP による。 http://www.city.sendai.jp/shobo/_icsFiles/afieldfile/2010/12/10/3-2_1.pdf